

# 松リハだより

松山リハビリテーション病院

2018  
24号

発行日  
平成30年11月

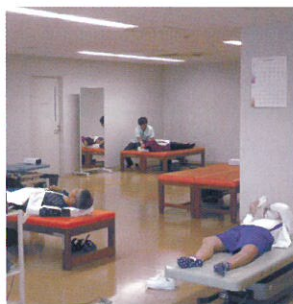
発行者：医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院 TEL089-975-7431 FAX089-975-1670 <http://www.jikyokai.or.jp>

## 在宅リハビリテーションセンター開設

【営業日】月～金(祝日は除く)  
【時間】①9:00～11:30 ②13:00～14:30  
③15:00～16:30

平成30年9月から短時間通所リハビリテーション(デイケア(介護保険))と従来からある外来通院リハビリテーション・物理療法(医療保険)を併せたセンターを立ち上げました。

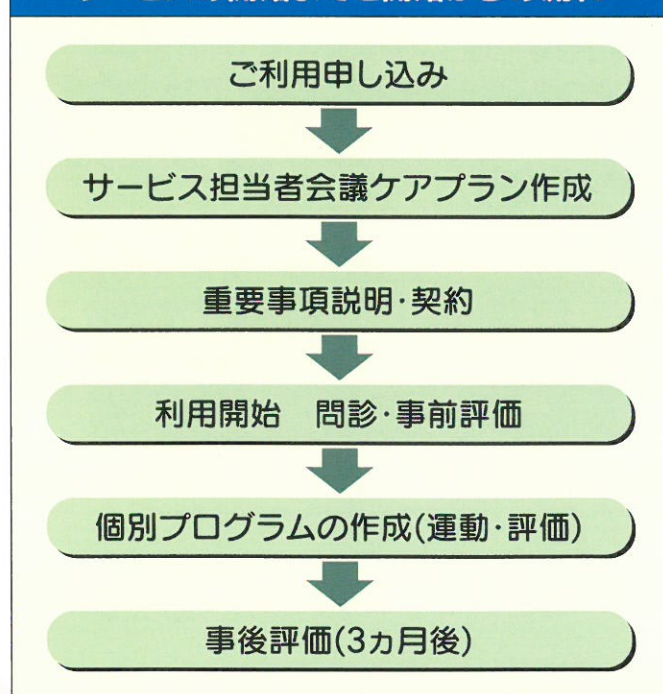
松山リハビリテーション病院が提供する短時間通所リハビリテーションは、2時間未満のリハビリテーションに特化したサービスです。



### リハビリテーション内容説明

- 専門の療法士が個別に評価・プログラムを作成し、短時間の個別リハや運動機器を使ったトレーニング・レベルに合わせた健康体操を実施します。
- 物理療法機器による筋促通やリラクゼーション、必要に応じた介護指導・助言などを提供します。

### サービスの開始までと開始からの流れ



### サービスのスケジュール(約1時間半程度)



# 患者満足度調査 結果報告 H.29年10月～H.30年9月実施

当院では、退院患者様を対象に『患者満足度調査アンケート』を実施しています。  
 当院を利用された患者様の率直なご意見を伺い、より充実した医療サービスが提供できるようにすることが目的です。

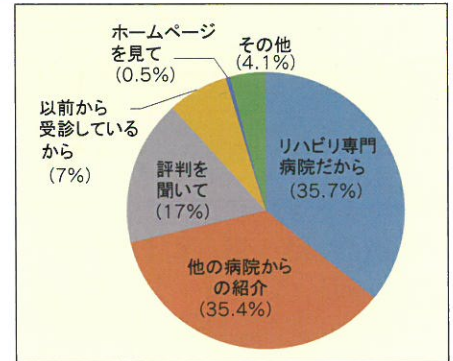
## 1) 入院患者アンケート (回答数376件) 回収率33.7%

### 当院を選んだ理由

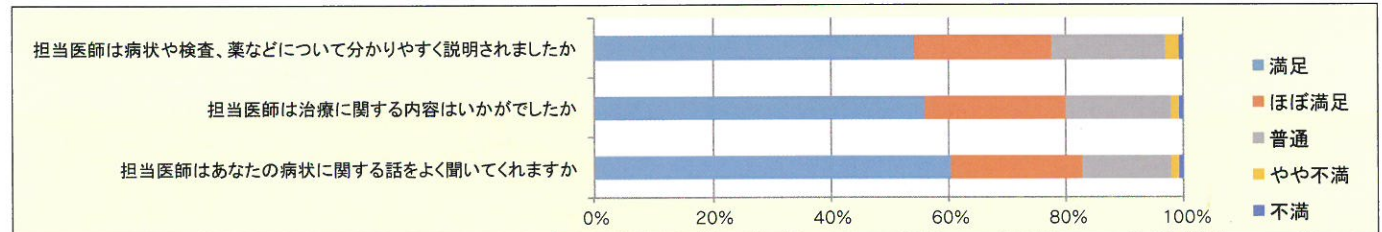
当院を選んだ理由では、「リハビリ専門病院だから」「他の病院からの紹介」と答えている方が全体の7割を占めています。

「リハビリ専門病院」として専門性を活かし、より多くの方々に質の高いリハビリを提供していくことが求められていることが伺えます。

医療連携の取り組みから医療機関間の情報共有が一層強化され、連携も病院選びの重要な決め手となっているようです。また、次いで「評判を聞いて」というご意見も多くいただいております。今後さらに患者様から選ばれる医療機関を目指していききたいと思います。

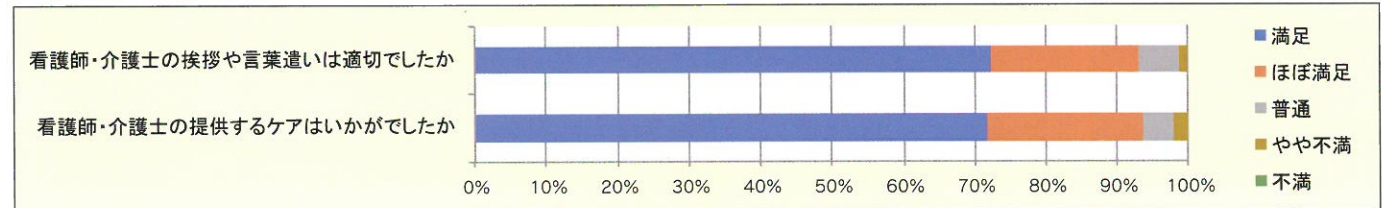


### 医師に対する満足度



医師に対しての満足度は、約8割近くの方から「満足」「ほぼ満足」の評価をいただいております。  
 今後も患者様が安心して診療を受けられる環境作りに努め、満足して頂けるよう、診療内容の充実を図っていきます。

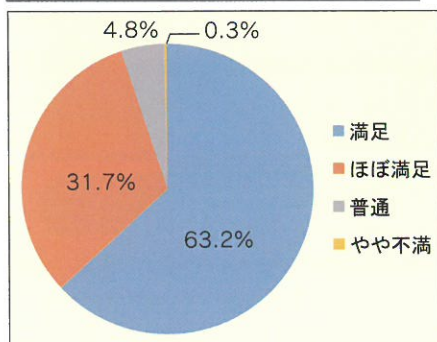
### 看護師・介護士に対する満足度



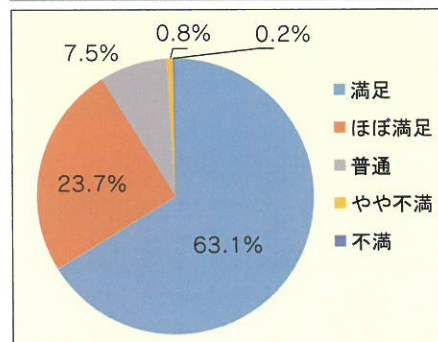
看護師・介護士に対しての満足度は「満足」「ほぼ満足」と約9割を超える評価をいただいております。  
 患者様と接する時間が長いいため明るく、笑顔で気持ちの良い対応ができるよう、  
 また、安心してリハビリや療養生活を送っていただけるよう患者様の思いに寄り添った看護・介護に取り組んで参ります。

## 2) リハビリ訓練アンケート

### リハビリの設備・環境面



### リハビリに対する満足度



リハビリの設備・環境面については、約9割を超える方から「満足」「ほぼ満足」との評価をいただきました。

また、訓練内容や担当者からの説明・指導、病棟訓練や担当者からの自主訓練内容などに対する満足度も8割を超える方から評価を頂きました。

今回いただいた皆様からの貴重なご意見につきましては、各部署・委員会で検討し、更なる医療サービスの向上に努めてまいります。

# リハビリテーション講座

No.13

福祉用具プランナーという資格を耳にしたことがあるでしょうか。

## 福祉用具プランナーとは…

福祉用具を必要とする高齢者や障害者に対し、必要な福祉用具の選定を援助、適切な使用計画を作成、利用の支援、及び適用状況をモニタリングできる専門家として、公益財団法人テクノエイド協会が提唱したものです。

当院では「福祉用具プランナー」の資格を取得している訓練士が8名います。(H30年11月現在)

また、全国では約100名、県内では2名しかいない「福祉用具プランナー管理指導者」の資格を取得している訓練士1名が在籍しています。回復期病院において、福祉用具の必要性は高く、福祉用具プランナーが在籍していることで、患者様や家族の方々、職員に対しての研修会を通して他職種にもアドバイスを行うことができます。



## 看護部の取り組み

# W L B 推 進 活 動

看護部は、H28年度より愛媛看護協会の活動事業である“WLB推進事業”に参加し、今年で3年目を迎えます。3Kまたは5Kと言われていた時代と比較すると、随分職場環境も変わってきました。しかし、改善すべき課題はまだ残っています。看護部ではWLB推進委員会を立ち上げ「現場の看護職員が元気にやりがいを持って頑張れる職場環境」を目指し、活動を続けています。

今年度10月11日に看護協会主催の「看護職員のWLB推進ワークショップ」に参加し、超過勤務の削減、腰痛予防の対策、短時間正社員制度の導入等の報告を行いました。インデックス調査については、看護部だけでなく100名程の介護福祉士も実施し、職種間との比較や同部署としての全体評価に活かしています。また、腰痛予防に関しては、リハビリ部の積極的な取り組みにより院内全体の活動となっております。腰痛に悩むスタッフが多い為、これは、とてもありがたい事です。

H30年度 WLB推進～3年目を迎えて～



松山リハビリテーション病院

【WLBワークショップでの様子】



【WLB推進の院内研修】



【超過勤務削減啓発ポスター】

この活動は、来年度より看護部から病院全体に移行されます。職員皆がやる気を持って励める職場作りを目指し、頑張ります。

# 高次脳機能障害支援拠点機関だより

当院は平成20年から愛媛県より指定を受け、高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業における支援拠点機関として、個別支援と普及啓発を二本の柱として活動してきました。

その他、当事者さんがそれぞれ得意とすること(音楽や読み聞かせ等)を活かして、色々なイベントにも参加しています。「松山デザインウィーク」ではステージを通して一般市民の方々への啓発も行いました(※写真)。皆様のご要望にお応えできるよう、様々な拠点機関主催の講習会を企画運営しています。



※松山デザインウィークにて(H30.9.23)

## ■一般公開されている拠点機関主催の講習会(H30年度)

日時	講習会名	内容	場所	参加者
7/21(土)	平成30年度 愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会	高次脳機能障害の本質を見極め 社会復帰を支援する ほか	テクノプラザ愛媛	172名
9/29(土)	一般社団法人日本損害保険協会 助成事業 リハビリテーション講習	高次脳機能障害のリハビリテーション 当事者体験発表	テクノプラザ愛媛	113名
1/12(土)	第34回臨床高次脳機能研究会えひめ	精神科における高次脳機能障害の治療(仮)	テクノプラザ愛媛	

今後も皆さまのご支援、ご協力を賜りながら、日々活動して参る所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

## 高次脳機能障害とは

事故や病気などで脳に損傷を受け、記憶力や注意力、対人関係能力などに障害が起き、それらが原因で生活に支障が出ている状態をいい、外見上わかりにくいことから「見えない障害」と言われています。



医療法人財団 慈強会

## 松山リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

〒791-1111 松山市高井町1211番地

TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670

ホームページアドレス <http://www.jikyukai.or.jp>

許可病床 326床・6病棟

(回復期病棟160床・一般病棟116床・地域包括ケア病棟50床)

日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 伊予鉄久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約7分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里

TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター

東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425

東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158

東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘

TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

味酒野 ていれぎ荘

TEL.089-989-5571 FAX.089-989-5572

(松山市委託事業) 松山市地域包括支援センター 小野・久米地区

TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

編集責任者 事務長 武井淳二